

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

燃料転換によるボイラー設備更新事業

排出削減事業者名：フクシマフーズ株式会社

排出削減事業共同実施者名：カーボンフリーコンサルティング
株式会社

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	フクシマフーズ株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	フクシマフーズ株式会社
住所	福島県伊達郡桑折町大字成田字二本木 10-1
排出削減事業共同実施者（J-クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	カーボンフリーコンサルティング株式会社
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

燃料転換によるボイラー設備更新事業。

2.2 排出削減事業の目的

A 重油から天然ガスに燃料転換を行い、ボイラー設備の更新によりシステムの省エネを図る。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既存のボイラーよりも高効率のボイラーに更新する事によりエネルギー効率を改善し、化石燃料の消費量を削減する。また、A 重油から二酸化炭素排出係数の低い天然ガスに燃料転換する事により、CO₂排出の削減を行う。

2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	■はい
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	■はい

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

事業実施後ボイラーで使用する燃料使用量を、燃料購入伝票の数値から、発電機で使用した天然ガスのメーターの数値を差し引いた燃料購入伝票の数値に変更する。

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日
2009年 12月 1日

3.2 モニタリング対象期間
(本報告における実績報告期間)
2013年 4月 1日 ～ 2016年 3月 31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用していない。

4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

本事業のバウンダリーは、燃料供給設備及び更新されるボイラーから熱・蒸気の供給を受ける設備とする。2016年3月からガス発電機が稼働しており、一部の天然ガスはガス発電機に利用している。

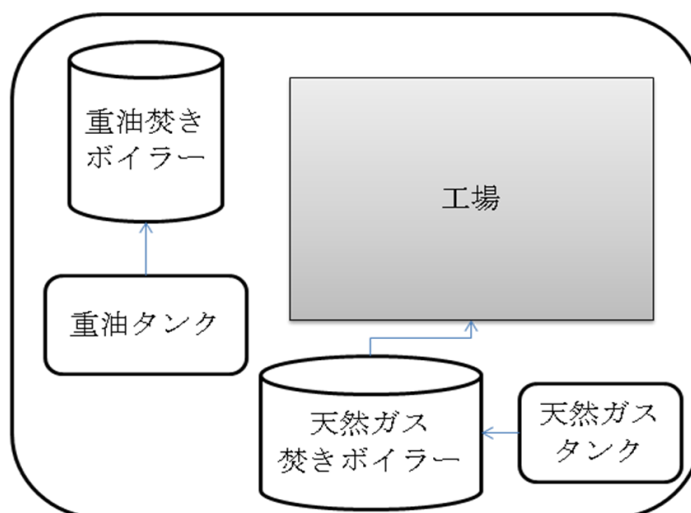


図1 バウンダリー図

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更あ る場合、) 変更理由
$F_{fuel,Pj}$	事業実施後燃料使用量	Nm ³	14,157,880	天然ガス請求書 ガス発電機のメーター 値	ガス発電機のメーター値を 差し引く
$HV_{fuel,pj}$	事業実施後燃料の単位発熱 量	GJ/Nm ³	0.0438	J-クレジット制度デフ ォルト値	
ϵ_{Pj}	事業実施後ボイラーのボイ ラー効率	%	87.13%	カタログ値より算出 (高位発熱量基準)	
ϵ_{BL}	ベースラインのボイラー効 率	%	(加重平均 81.09%) 80.35% 80.44% 83.10% 80.54%	カタログ値より算出 (高位発熱量基準)	
$CF_{A重油,BL}$	ベースライン燃料の単位発 熱量あたりの CO ₂ 排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0708	J-クレジット制度デ フォルト値	
$CF_{天然ガス,Pj}$	事業実施後燃料の単位発熱 量あたりの CO ₂ 排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0513	J-クレジット制度デ フォルト値	

7 排出削減量の計算

7.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
14,157,880 (Nm3)	0.0438(GJ/Nm3)	0.0513(tCO2/GJ)	
EMPj			31,811.9 (tCO2)

7.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
14,157,880 (Nm3)	0.0438(GJ/Nm3)	0.0708(tCO2/GJ)	
87.13(%)			
81.09(%)			
EMBL			47,172.1 (tCO2)

7.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
LE			0

7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EMBL</i>	47,172.1
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EMPj</i>	31,811.9
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下四捨五入)	<i>ER</i>	15,360

8 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン-実績 (①-②)
17,189.8	15,889.4	1,300.4

省エネ量=17,189.8-15,889.4=1,300.4 (kl)

9 再生可能エネルギー量

本事業は再生可能エネルギーを利用しない。